

# オキナワシャリンバイ

か めい  
科名 バラ

べつ めい  
別名 モッコクモドキ

がく めい  
学名 *Raphiolepis indica* var. *Iiukuensis*.



く ぶん  
区 分 もくほんるい  
木本類

ぶん ぶ  
分 布 おきなわ  
沖縄

は かたち  
葉 の 形 ちょうだえんけい  
長楕円形

は ふち  
葉 の 縁 ぜんえん、きよし  
全縁、鋸歯

は さき  
葉 の 先 どんけい  
鈍形

は しゆるい たんよう  
葉 の 種類 単葉

は つきかた ごせい  
葉 の 付方 互生

は きふ くさびがた  
葉 の 基部 くさび形

み しゆるい えきか  
実 の 種類 液果

はな がくいろ しろいろ  
花・萼色 白色

せいめい  
説 明 かいがんちか ていち せいいく じょうりよく ていぼく は かくしつ こうたく ごせい ちょうだえんけい なが  
海岸近くや低地に生育する常緑の低木です。葉は革質で光沢があり互生し長楕円形、長  
さ5-10 cm、幅1-3 cmです。葉先は鈍形、葉の縁はやや波形の鋸歯があります。白い花が咲き  
ます。実は熟すと黒くなります。樹皮は染め物の原料として使われます。